



広報 - 第2号 - みやぎ

平成16年10月発行

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院

発行責任者 齋藤 博

〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地

TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316

ホームページ <http://www.mnh.go.jp>

基本理念

私たちは、国立病院の使命を認識し、当院を利用されるすべての方々に信頼され、かつ満足していただける医療サービスと生活支援をめざしております。



初冬の蔵王不忘山

写真提供: 宮城県観光課

より緊密な地域連携に向けて 宮城病院長 齋藤 博

平素より当院の運営にご理解とご支援を賜っておりますことを深く感謝申し上げます。

国立病院・療養所が独立行政法人化して半年が過ぎました。まだ法人全体の体制や個々の病院運営面で多くの課題が残されておりますが、これからも地域の皆様に信頼されかつ満足していただける病院を目指しますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

他方、東北地方、とくに郡部の公的病院では医師確保がきわめて困難な状況が続いております。当院でも一人しかいなかった呼吸器科専門医が10月から他の病院に異動したため、結核・呼吸器疾患の病棟を休棟とせざるをえなくなりました。地域の皆様ならびに関係機関の方々には大変ご迷惑をおかけいたしますが、諸事情をご賢察の上、ご理解いただきたく存じます。なお、呼吸器科の外来診療は東北大学のご援助で毎週木曜日に行っております。

第1号でもご紹介申しあげましたが、当院ではセミオープン制度を通じて医療機器の共同利用を進めております。先生方から各種の画像検査または生理検査等のご依頼をいただきました際に、できるだけ迅速に診察・検査結果とご返事をさしあげられるよう、窓口の地域医療連携室を中心に関連部署が対応させていただいております。セミオープン制度ならびに広報誌「みやぎ」を地域医療・福祉・行政連携や情報交換の一助としてご活用くださいますようお願い申し上げます。

～ 清和園・みやま荘・梅香園見学～



介護課長 門馬由紀子さん[写真中央]からリハビリテーションについて説明をしていた。
(清和園)

園長 森れい子さん[写真中央]から概況説明をしていただいた。
(みやま荘)



見学者の質問に答えていただいた園長 太田 悦行さん[写真右]
(梅香園)



当院にも地域連携室が開設され、看護師が果たす役割もまた重要になってきました。そのような中、清和園・みやま荘・梅香園の施設長さん、職員のみなさまのご高配により施設見学の機会を得ることができました。私たち看護師は病院を退院し施設に入所した患者さんが施設でどのような生活を送り、そして地域に帰っていくのかよく知らないまま退院調整をしていたような気がします。今回の見学をとおして、その家庭的な生活環境、一人一人の利用者の方々がどのように生活していきたいのかを最優先して介護をしていることを知り、感動とともに自分たちもそうありたいと刺激を受けてきました。また病院や施設が、患者さんや施設を利用される方の望む生活を可能なかぎり送れるようにするため、お互いに情報を交換し協力体制を組んでいきたいというお互いの思いを確認し合うこともできました。

今回の見学は私たち看護師が果たすべき役割を振り返るとてもよい機会となりました。そして参加した看護師8名それぞれに学びを得た有意義な日となりました。このような機会を与えてくれました関係者のみなさまに深く感謝いたします。

(文責:看護師長 大森 真由美)

職場紹介 ～ 管理課～

今年3月まで庶務課として組織され、独立行政法人化後は、庶務課の業務の殆どがそのまま移行されてきたのが管理課です。庶務班と職員班があり、庶務班は庶務係と給与係、職員班は職員係と厚生係に細分されております。

業務の内容を紹介いたしますと、庶務係は、院内の連絡調整から始まり管理課の各係の所掌に属さない事項に関することを業務としております。係は、電話交換手の横山、車庫長の佐藤、4月に採用となった菅野、稲垣が担当しております。給与係は、職員の給与支給等の手続きに関することを主とした業務をしております。係は、給与2年目の鳴原、4月採用の林が担当しております。次に職員班職員係ですが、職員の兼業、勤務時間、休日休暇等、また、研修に関することを主とした業務としております。係は、4月に青森病院から赴任してきた係長の山田が任免等も併せて担当しております。また、出勤簿等の整理は、電話交換手の横山が担当しております。

最後に厚生係ですが、厚生労働省第二共済組合に関すること、職員の健康管理に関することが主な業務となります。係は、共済ベテランの佐藤と、4月採用の早川が担当しております。

庶務班長は、7月に仙台医療センターから赴任してきた佐々木が、職員班長も併任しております。管理課長は、3月に厚生局から医事課長として赴任し、4月に管理課長に配置換となった横山です。管理課は、基本的には全員で全般をという基本で業務を行なっておりますので、誰にでも遠慮なく声をかけて頂ければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(文責:管理課職員係長 山田 敦)



昭和57年4月新設になった仙台赤十字病院小児医療センターで小児外科を担当し、諸般の事情にて地元を開業することとなり、来年2月で満20年をむかえる事となった。

開業するにあたり、自宅で最期までと望まれる方には、できるだけ往診にて対処したいと考えていた。本年4月に500人目の死亡診断書を発行した。その95%以上が在宅での看取りとなり、所期の目的を達していると考えており、特に平成8年、やまもと訪問看護ステーションを宮城病院向いに開設してから、在宅医療にはずみがついてきている。

当院は宮城病院に最も近く(車で2分位)、開業当初からいろいろな先生にお世話になってきた。この1年間の患者さんの紹介先をみると190名を紹介したが、うち71名が宮城病院、ついで公立相馬総合病院で44名となり、約4割の方が宮城病院にお世話になっている。平成16年4月から入院診療をひかえる事となり、セミオープン登録医としてより一層、宮城病院にご迷惑をおかけする事が多くなるのではと思われる。

いつの間にか、宮城病院の先生方の大半が私よりあとに医師免許を取得された方となって、今更ながら開業医生活が板についてしまったと思う。おしかりを覚悟して一言述べさせてもらえば、医学部在学中、或は初期研修中に地域医療についてその意義、苦しさ、楽しさをもう少し習得できる時間があれば、当地での医療も意味深いものになるのではないかと、そんな事を考えているこの頃です。

松村クリニック 松村 吉一



松村クリニックのご紹介



診療科 / 内科・小児科・外科・整形外科・小児外科・皮膚科・泌尿器科
住 所 / 〒989 - 2111 宮城県亶理郡山元町坂元字道合37
電話 / 0223 - 38 - 0005

[セミオープンとは?]

地域の開業医の先生方が、当院の医療設備の一部を利用していただき、当院医師との連携のもとに協同して診察と研修に当たることができるシステムです。

利用可能な医療機器は、MRI・CTスキャン・SPECT・DSA・デジタルX線装置・高機能超音波検査機器・テレビ内視鏡装置があります。

生活習慣病を予防しよう

薬剤科から

- 糖尿病編 -

現在の糖尿病の治療では食事療法が一番大切です。次いで運動療法が大切です。残念ながらいまのところ糖尿病を根本から治す特効薬は現れていません。

現在の糖尿病の治療は、食事療法と運動療法を基本として不足しているインスリンを注射して補ったり、膵臓に働きかけてインスリンの分泌を促進させる内服薬、またインスリンの働きを助けたり炭水化物(デンプン質など)の消化を遅らせる内服薬を用いてできるだけ血糖値を正常値に近づけて、安定した血糖値を維持することになります。では血液中の糖分は脳を働かせたり、筋肉を動かす重要なエネルギー源ですが過剰に存在することが長くなるとどんなことが起きてくるのでしょうか？それはちょうど新鮮な果物を砂糖漬けにするとぐちゃぐちゃになるように体の細胞がボロボロになってきます。

特に血管が大きなダメージを受けて高血圧、網膜症(眼が見えなくなる)、腎不全(人工透析が必要)、心筋梗塞、脳梗塞といった血管の障害が起きてきます。また知覚神経(痛みなどを感じる神経)や自律神経(生命を維持する神経)が傷つけられる神経の障害なども起きてきます。

元気で充実した人生を送るために、もし糖尿病と診断されたら主治医の指導を良く守り、必要な治療法を継続して糖尿病と上手に付き合いましょう。

(文責:調剤主任 佐々木 聖一)

診療科別		月	火	水	木	金
内科	予約再来	舟生 岳晴	渡邊 哲子	渡邊 哲子(第1、3)	(糖尿病外来) 舟生 岳晴	金田 京子
	新患・予約外再来	金田 京子	金田 京子	金田 京子(第1、3)	金田 京子	舟生 岳晴
	入院患者他科受診			渡邊 哲子(第2、4)	渡邊 哲子	
神経内科	新患	久永 欣哉	望月 廣	齋藤 博	齋藤 博	藤井 玲子
	再来		齋藤 博	藤井 玲子	久永 欣哉	
	再来	岩崎 祐三	加藤 昌昭	及川 崇紀	望月 廣	
呼吸器科					大学より交替で	
消化器科		阿部 毅	検査	検査	阿部 毅	検査
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		(アレルギー-外来) 堀川 雅浩	(第1・3)乳児健診		
外科		岩附 昭広	岩附 昭広	手術日	岩附 昭広	岩附 昭広
脳神経外科		志田 直樹	安藤 肇史	志田 直樹	手術日	安藤 肇史
皮膚科					第4(木)のみ	
リハビリテーション科				(第2・4午後)新藤 恵一郎 (入院患者対象)		
歯科		小西 寛子	小西 寛子	小西 寛子	小西 寛子	小西 寛子

ご注意ください

受付時間は午前8:30～11:00です。

土曜日・日曜日・祝祭日及び年末年始(12月29日～1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

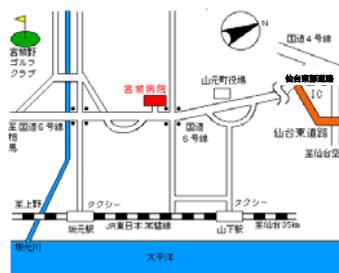
お問い合わせ先 0223-37-1131

当院で新たに診察される患者さまは、前に受診・通院されておられました病院などの「紹介状」を、なるべくお持ちくださいますようお願いいたします。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくことになりますので予めご了承願います。

山元町の特徴

秋には「鮭の腹子飯」,冬から春の「ほっき飯」,初夏の「アナゴ丼」などが有名です。浜上げの新鮮な魚など海の幸に恵まれ、地場のイチゴ、リンゴなどの果物も自慢です。最近、仙台のベッドタウンとしての性格も強くなり、新興住宅地の開発も進んでいます。

交通のご案内



自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイントの位置です。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

鉄道でおいでの方

仙台方面から

JR常磐線山下駅下車、徒歩で約5分

相馬方面から

JR常磐線坂元駅下車、徒歩で約5分

